

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	胸腔鏡下食道切除は術後肺炎を減らせたか？
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2000年から2022年の23年間に当院で食道亜全摘を行った食道癌および胸部操作を要した食道胃接合部癌456例を対象
③概要	食道癌根治術は手術侵襲のため、術後呼吸器合併症をきたしやすく、手術関連死亡は他の疾患に比べて高率である。低侵襲食道切除（胸腔鏡手術、縦隔鏡手術、ロボット手術）は手術侵襲が軽減でき、術後合併症の軽減やQOLの維持が期待され、広く普及した。従来の開胸手術と胸腔鏡手術との比較を後ろ向きのカルテ調査で検討する。
④申請番号	第631号
⑤研究の目的・意義	「低侵襲手術は術後肺炎を減少させたか？」当院の症例で検討する。
⑥研究期間	倫理委員会承認日から2024年10月15日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	第73回日本農村医学会学術総会での演題発表
⑧利用または提供する情報の項目	カルテ内の臨床データ（画像、臨床検査）、発表内容はUSBで学会発表時登録
⑨利用の範囲	第73回日本農村医学会学術総会
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	研究者の院内パソコンで管理 長岡中央総合病院 外科 河内保之
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	長岡中央総合病院 医療支援課 0258-35-3700（代表）